

2009年7月1日

インドネシアでの木質内装材製造会社の新設について ～ 海外での新たな製造事業に進出 ～

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区大手町1丁目3番2号 以下、住友林業）は、インドネシアにおいて、建具造作材製造を行う現地パートナー会社との合併により、木質内装材製造会社を新設しましたので、お知らせ致します。

同新設会社は木質内装材の製造事業をおこないますが、これは住友林業グループにとって海外における新規参入事業であり、環太平洋地域における川上から川下まで、即ち山林事業から住宅事業までの垂直統合型ビジネスの構築を目指すにあたり、いわゆる“川中”部分の補完を図るものです。

1. 合併会社設立の狙い

当社グループの海外住宅事業の拡大を視野に、環境に配慮したサステナブルな原材料を使用しながら、良質で意匠を統一した木質内装材（床、階段、カウンター等）を製造すべく、木質内装材製造会社を新設します。当初は、「住友林業の家」を始めとする国内一般市場、及び海外市場を対象に安定的な供給体制の構築を目指します。そして、将来的には、より加工度の高いキャビネットや家具の製造まで業容を拡げ、収益の拡大を図ります。

今回の合併により、住友林業グループ内に専属の木質内装材製造拠点が加わることとなります。当社住宅事業においては、多様なニーズに応えるオリジナル部材の安定供給につながり、また、木材建材事業においては、取扱商品の拡充から新規分野への参入が見込め、さらに重点育成事業である、不動産事業やリフォーム事業への部材提供など、さまざまなシナジーが期待されます。

2. 合併に至った背景

現地パートナー会社（PT. Panca Wana Indonesia インドネシア法人 以下PWI社）は、住友林業と過去10年以上にわたり、「住友林業の家」の建具造作材を中心とした取引をしている木工事業会社であり、原材料調達力や商品開発力に優れ、住友林業の要求品質に高い技術力で応えてきた実績を持つ企業です。

3. 合併会社の概要

社 名 : PT. Sinar Rimba Pasifik (PT.シナール・リンバ・パシフィック：SRP)
(インドネシア語で Sinarは光、Rimbaは森、Pasifikは太平洋を意味します)

代表者 : 代表取締役 宮崎 宏征

所在地 : インドネシア共和国ジャワティモール州（東ジャワ州）シドアルジョ県

資本金 : US\$ 5,100,000 (出資比率 住友林業51%：PWI社49%)

設 立 : 2009年6月17日

事業目的 : 木質内装材の製造・販売（住友林業、及び国内外市場向け）

従業員 : 約180名

住友林業グループでは、今後の長期的な方向性を示した、長期経営計画「PROJECT SPEED」において、「新たな収益事業の創出」と「社員の意識改革」を目的に掲げていますが、この計画の中で「海外事業」は「不動産事業」、「リフォーム事業」とともに重点育成事業のひとつとして位置づけています。今回の新規事業進出をはじめ、長期視点での新たな収益事業の創出、育成につとめてまいります。

以上

《お問合せ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 松家・大屋

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272